

令和7年度 学校図書館活用実践報告

新潟市立丸山小学校

1 図書館教育の目標

読書に親しみ、図書や新聞、各種資料を活用できる子どもを育てる。

＜図書館指導教育の重点＞

- 進んで読書しようとする意欲を高める。
- 学年に応じて図書の分類の仕方が分かり、必要な図書を主体的に活用できる力を育てる。

2 実態と課題

(1)「読書センター」として

・読書を積極的にする児童が多く、図書館利用の時間だけでなく、休み時間も多くの児童が図書室へ通っている。

読書量は学年が上がるにつれてやや減少傾向にあるが、全校で平均で年間100冊以上の貸し出しを行っている。

△本をたくさん借りる児童が多いが、あまり借りない児童もいる。どの児童も本を借りるような手立てが必要である。

(2)「学習センター」として

・担任と司書が連携し、学習に必要な図書資料を揃え、教室で自由に読めるような環境を設定している。内容によっては、司書も授業に入り、アドバイスするようにしている。

△司書との打ち合わせや連絡を取り合う時間を工夫したい。

(3)「情報センター」として

・「学校図書館活用年間計画」は、市小研学校図書館部作成のものを使っている。タブレット(ロイロノートの自校の資料箱)に入れ、使いながら自校化を図っている。

3 取組

(1) 「読書センター」として

① 朝読書の実施

毎週金曜日の朝及び読書旬間期間中の朝に、15分間(モジュールの時間)の朝読書を行う。

② 「この本よんだ?〇年生」「シリーズはかせに挑戦」の設定と達成者表彰

学年ごとに読んでほしい本10冊を選んだ「この本よんだ?〇年生」と手に取ってほしいシリーズの本「シリーズはかせに挑戦」を設定し、読書を薦める。すべて読んだ児童には、賞状などを渡して表彰する。

③ 特設コーナーの設置

「教科書掲載の本のコーナー」「この本よんだ〇年生」の本のコーナーを設置し、児童が手に取りやすいようにする。

④ 読み聞かせボランティアによる読み聞かせ

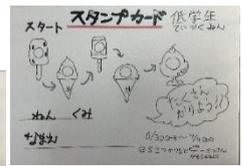
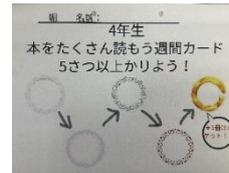
月に2回、金曜日の朝読書の時間に、地域ボランティアによる読み聞かせを行う。

上学年、下学年に分け、各クラスで行っている。

⑤ 本をたくさん読もう週間(6月)、読書旬間の取組(11月)の取組

本をたくさん読もう週間(6月)

前期の運動会後の1週間「本をたくさん読もう週間」を設定し、本に親しむ機会を設けた。スタンプカードを作り、期間中に5冊以上本を借りた人は、「プラス1冊券」がもらえる。



読書旬間の取組(11月)・・・11月の後半2週間で「読書旬間」として取り組んだ。

- 5冊貸出・・・期間中は、毎日5冊借りることができる。
- 「ぼくの1冊・わたしの1冊」をかこう・・・本の紹介カードを全校児童が書き、掲示する。
- 家読(うちどく)をしよう・・・期間中に2日以上、お家の方と一緒に本を読む時を作る。自分一人で読むだけでなく、家族と一緒に読んだり読み聞かせを行ったりするなど、積極的に読書をする児童の様子が見られた。

【家読(うちどく)カード】



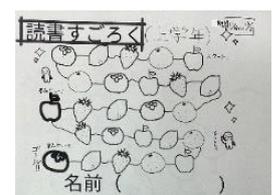
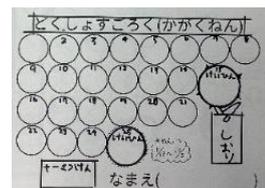
【ぼくの一冊・わたしの一冊】



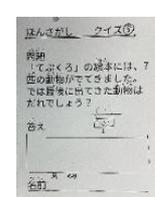
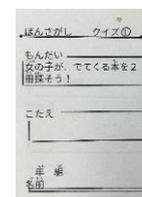
- コラボ給食・・・お話に出てくるメニューを給食で出してもらい(5回)、その日の昼の放送で図書委員が読み聞かせをする。



- 読書すごろくカード・・・すごろくカードを作り、借りた本の冊数分スタンプを押していく。既定の数まできたら、景品(しおりやプラス1冊券)がもらえる。



- 本探しクイズ・・・クイズカードに書かれた問題に合う本を探し、解答欄に題名を書いて提出する。正解していたら、景品(折り紙)がもらえる。



(2) 「学習センター」として

① 図書館オリエンテーション

年度初めに図書館の利用方法への理解を高めるため、学年に応じて図書館の利用方法や本の分類などに関するオリエンテーションを行った。また、学習内容に応じて、適宜、分類の確認やラベルの見方の紹介などを行った。

② 「学校図書館年間活用計画」の活用

市小研学校図書館部作成の学校図書館活用年間計画を活用し、授業実践をしている。また、新潟市が作成した「体系表」にも照らし合わせながら、取り組んでいる。

③ 授業実践

「学校図書館活用年間計画」を基に、各学年で本を使った授業に取り組んだ。

また、市小研学校図書館部作成の「もっ図いっ書に」をロイロノートの自校の資料箱に入れ、活用できるようにした。

(実践 別紙参照)

(3) 情報センターとして

① 新聞コーナーの設置

当日の朝日小学生新聞がいつでも読めるように、展示台を設置している。それぞれの記事の中から、児童が興味をもちやすい話題を選び、掲示して紹介した。

② 公共図書館との連携

新潟市図書館支援センターと、団体貸出、学校訪問、レファレンスなど、必要に応じて連携している。

(4) 中学校区連携の取組

① 図書館だよりを学校間で交換し、図書館に掲示したり職員にも回覧したりしてもらった。

② 大江山中学校から小学校へしおりのプレゼントをしていただいた。

読書旬間の特別な景品として、児童にも好評だった。

③ 三校共通で使える「貸出プラス一冊券」の使用を今後も続ける。

2年ほど前から中学校区で作成し、配布している。小学校6年生時に配布し、中学校でも使えるようにしている。

④ 今年度、三校で共通の本の読み聞かせをした。

4 取組を振り返って

本校では、読書センターとしての取組と、学習センターとしての取組を中心に行った。

○読書センターとしては、毎年行っている活動の充実と改善をはかることができた。年間貸し出し冊数も増えている。

○学習センターとしての取組では、図書室で意欲的に学ぶ姿が見られ、教科書で学習した内容に関連する図書を休み時間に進んで借りてくる児童も多くなった。また、各学年の授業でも積極的に本を活用し、学習成果を上げることができた。

○今年度受けた読書バリアフリーについての研修を基に、今後当校の図書館にも読書バリアフリーを見据えたもの(ルーペやリーディングトラッカー等)を設備していきたい。

○調べ学習を自分で進められるように、「調べ学習カード」をおくようにしていく。

○体系表や活用計画を活用しながら、取り組みを進めたい。

○これからも、中学校区での情報交換を通して、各校との連携を深めていきたい。

(別紙)

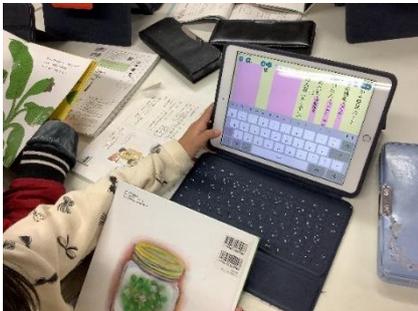
<学校図書館を活用した授業>

活用した学年・月	1 学年 1 2 月
教科・単元	国語「すきなおはなしはなにかな」
活動内容	○好きなお話を選び、紹介文を書く。 紹介文には、①題名②紹介したところ③絵 を書くことにする。 「紹介したいところ」には、どんなところを書くかを考え、自分の伝えたいところを見つけてカードに書くようにする。 ○できたカードを読み合い、色々な本を読むきっかけとする。
授業の実際 子どもの様子 司書との連携 (写真1～2枚)	○紹介したいところを確認してから取り組んだことで、どの子もカードづくりにスムーズに取り組めた。 ○友達のカードを読むことで、次に読んでみたいという意欲を高めることができた。 

<学校図書館を活用した授業>

活用した学年・月	2 年生 1 2 月
教科・単元	国語「昔話のすてきを紹介しよう『かさこじぞう』」
活動内容	①昔話のすてきなところ(①人物、②言葉、③物語の展開)を見つけ、紹介カードを作る。
授業の実際 子どもの様子 司書との連携 (写真1～2枚)	・昔話の本を司書に集めてもらい、教室に並行読書として置いておく ・読書旬間と重なったこともあり、毎日の朝読書で昔話の本をたくさん読む。 ・教科書の「かさこじぞう」を取り扱い、昔話ならではのすてきなところを見つけて観点別に分ける。 ・見つけた観点を使い、他の昔話でもすてきなところがないか、さがして紹介カードに書く。 ・図書室に紹介カードを飾ってもらい、他の学年の人にも読んでもらえるようにした。 

<学校図書館を活用した授業>

活用した学年・月	3年生 12月
教科・単元	国語 「本から発見したことを伝え合おう」
活動内容	① 図書館の絵本の中で今まで読んだことのない本を選び、題名、書いた人、出版社を調べ、本から新しく知ったこと、感想をまとめグループ、学年内で発表する。
授業の実際 子どもの様子 司書との連携 (写真1～2枚)	<ul style="list-style-type: none"> ・本の内容を一言で人に伝えられるように内容を要約し、まとめる作業を行う。 ・グループで互いに発表しあい、自分が読んだ本の内容・良さを伝え合う。 ・学年でも共有を行うことにより、新しい絵本への興味を誘う。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

<学校図書館を活用した授業>

活用した学年・月	4年生
教科・単元	国語「わたしのクラスの『生き物図鑑』」
活動内容	自分の好きな生き物について、本や図鑑などを使って調べ、分かったことや考えたことをリーフレットにまとめる。
授業の実際 子どもの様子 司書との連携 (写真1～2枚)	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな生き物（動物）を選び、その生き物の本（絵本・図鑑など）を読んで、材料を集めた。あらかじめ、図書館司書から生き物の本を用意してもらったおかげで、材料集めがスムーズにできた。 ・用意してもらった本ではない生き物について調べたい児童は、図書館司書に「〇〇の本は、どこですか？（ありますか?）」と聞いて、本を探して、材料を集めていた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

<学校図書館を活用した授業>

活用した学年・月	5年生 10月
教科・単元	国語「和の文化を発信しよう」
活動内容	① 「和の文化を受けつぐー和菓子をさぐる」を読んで学んだことを生かしながら、和の文化について調べる。 ② 調べたことを、ポスターにまとめる。
授業の実際 子どもの様子 司書との連携 (写真1～2枚)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の調べたい和の文化を決め、インターネットや本で情報を集める。インターネットで調べた情報と本で得た情報を照らし合わせ、必要な情報を選んでポスターにまとめる。 ・インターネットで調べる活動を先に行い、その後に図書館の本で調べる活動を行った。インターネットでは情報量が多く、どの情報を使えばよいか迷っている様子が見られたが、本で調べた際には、自分が必要としている情報がわかりやすくまとめられていることが多く、ポスターにまとめる時には活動がはかどっていた。 ・本を使って調べる前に、図書館司書に事前に伝えておき、どの場所に本があるかを子どもたちに教えてもらうよう依頼した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

<学校図書館を活用した授業>

活用した学年・月	6年 7月
教科・単元	国語「風切るつばさ」
活動内容	①登場人物の関係性が魅力的な作品を読み、お気に入りの作品で人物関係図を作成し、ブックトークをする。
授業の実際 子どもの様子 司書との連携 (写真1～2枚)	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書で「風切るつばさ」を読み、登場人物の行動・様子・会話などから、登場人物同士の関係性や心情の変化を読み取る学習をした。 ・図書館司書には「登場人物同士の関係性が魅力の絵本」を40冊程度用意してもらった。学校図書館だけではなく、市立図書館からも本を取り寄せてもらった。 ・普段から読書習慣がなく、「読むこと」に対して抵抗をもつ児童が多い子どもたちだったが、授業で学んだことを生かしながら人物同士の関係を読み取り、人物関係図を作成していた。ブックトークで作品を紹介し合った後には、紹介してもらった本を進んで読む姿が見られた。 <div style="text-align: right;">  </div>